

「空き店舗を活用した避難住民のビジネス・ サロンの場を通じた起業化・雇用創出支援」

事業主体： 認定NPO法人
ふくしまNPOネットワークセンター

1. 事業の背景

1) 避難住民の現状(当時点)

◇ 絆、地域コミュニティの寸断

- ・ 家族の分断（高齢者～子供～孫）
- ・ 地域の絆の寸断（仮設～借上げ～自主避難、家族間の意見の食い違い等）

◇ 借上げ住宅の孤立化(情報・支援)

- ・ 仮設住宅との乖離。自治会組織も未整備等

◇ 避難生活の長期化

- ・ 見知らぬ土地と劣悪な住宅での避難生活

◇ 奪われた当たり前の日常生活

- ・ 取組むものが無く衰える気力と体力

◇ 立てようがない生活設計

- ・ 除染作業の遅れ、廃炉作業でのトラブル続き。帰れる見通しが立たない 等々

◇ 避難住民：県内約9.0万人、県外約4.9万人(2013年12月現在)

- ・ 福島市内の仮設住宅：浪江町（6所：1,430人）、飯舘村（4ヵ所：640人）、双葉町（1ヵ所：130人）。
- ・ 借上げ住宅はこれを上回る人数。



浪江町の仮設住宅（福島市）

2) 主要課題

① 若者(働き手)の県外流出の増加

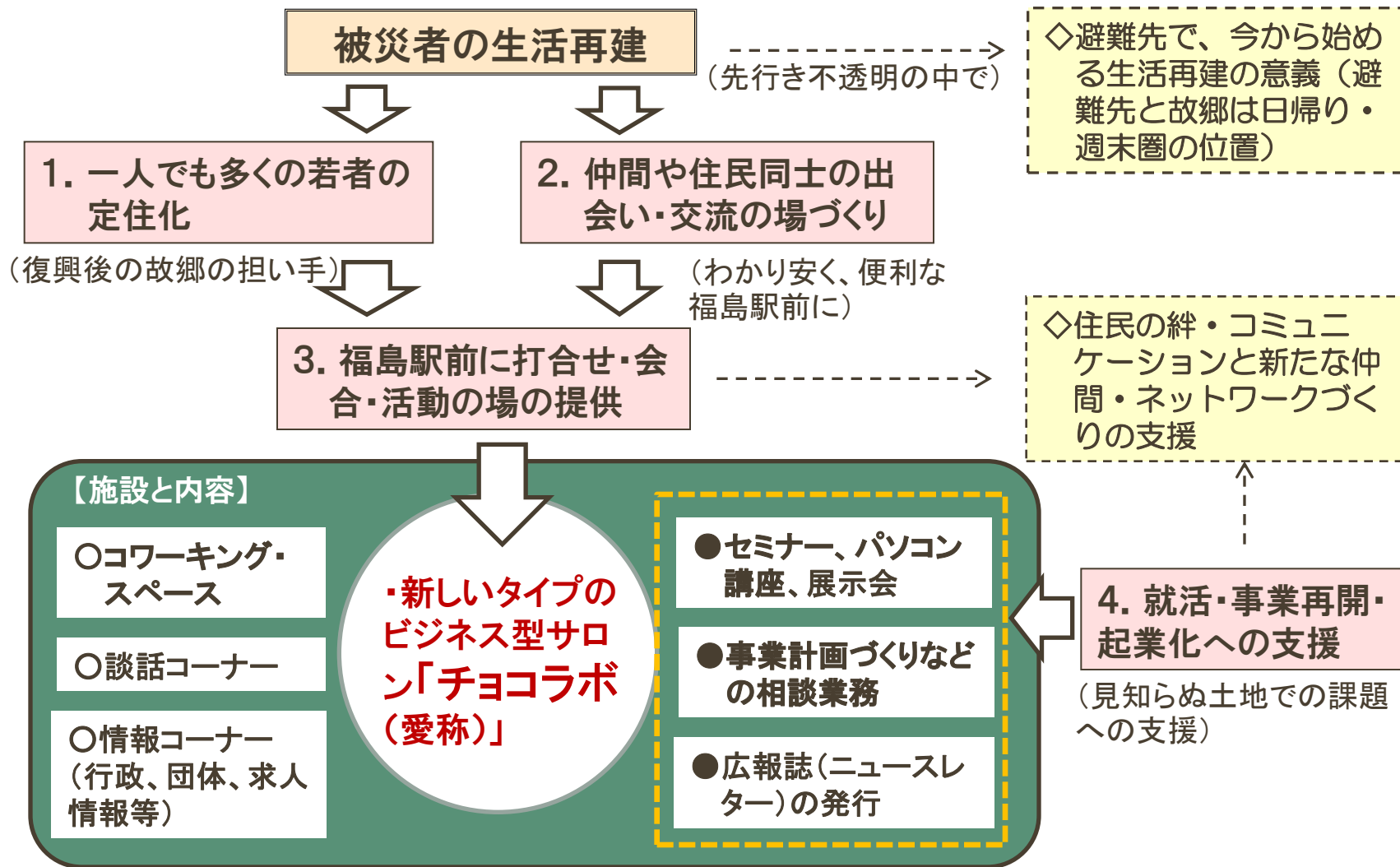
② 今後の生活(暮らしの)再建をどう立て直すか？

③ 借上げ住宅(住民)における情報・支援からの孤立化

④ 孤立化・引きこもり。生活への
はり合い・生きがいの喪失

2. ビジネス型サロンの運営 (平成24年度福島県地域づくり総合支援事業)

1) 支援事業のねらい



3. 初年度利用者の実績と課題

1. 利用状況（コワーキングスペース）



・セミナー



・ワークショップ(大学生・団体)



・初心者向けパソコン教室

2. 就活・事業計画相談（サロン）

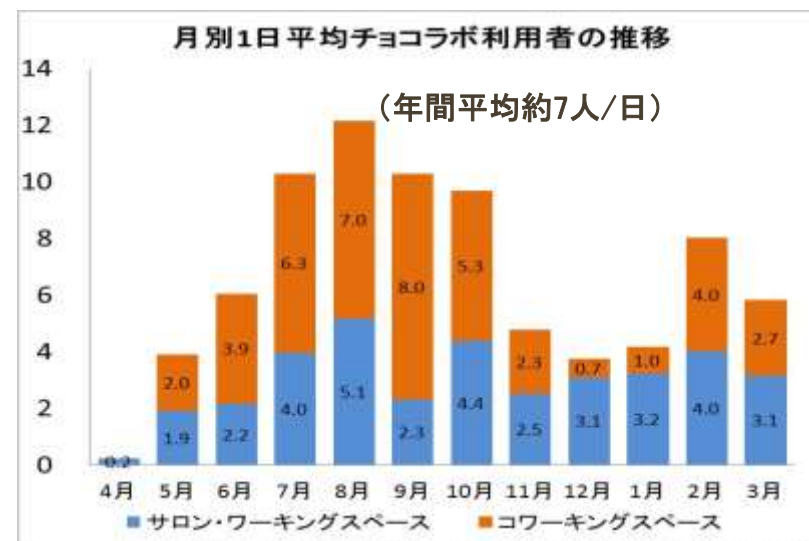


・事業計画相談



・サロン風景

3. 利用者の実績



4. 初年度の課題

●避難住民の利用が少なかったこと

(※その理由)

- ・仮設住宅や借上げ住宅は郊外に多く、交通手段は車が中心に。
- ・車では駐車場料金がかかる。
- ・高齢者や主婦が車で駅前に出てくるのは難しい等

4. 課題への対応と出前講座 (2年目:大阪コミュニティ財団支援事業)

1) 出前(絆)講座のねらい

福島駅前のチョコラボまでは出かけて来れない避難住民のために、こちらから出かけて行って**仲間やグループでの活動や起業化**を考えるきっかけづくりを目指す。(又、集まるということで**絆づくり**つなげる)

②駅前でチョコラボ運営と併行での企画・体制づくり

- チョコラボの利用者、大学生
- チョコラボでの起業者、実践者(経営者)
- セミナー講師の大学教授やNPO法人の代表者
- 外国からのボランティア員
- まちづくり専門家

企画会議

2) 出前(絆)講座の概要

①浪江町と飯舘村の仮設住宅集会所(各1ヶ所)で出前講座を開催

自分がやってみ
たいこと(起業・
商売)は?

避難生活で
困っている
ことででき
ることは?

特技や経験・趣
味を活かして何
かできないか?

出前(絆)講座

- 考え方・やり方・実践者の体験談に学ぶ
- 仲間やグループで話し合ってみる(ワークショップ)

出来る事から始めましょう!

◇小さなビジネスを立ち上げる

- ・野菜等の栽培
- ・加工品づくりと販売
- ・手工芸品の制作と販売

◇住民同士で生活環境を改善する

- ・「結」による介護・子育て支援
- ・サロンの運営等

5. 出前(絆)講座の内容と成果

1)出前(絆)講座カリキュラム

回数	講座テーマ	講師
第1回	●農業の六次化と加工品づくり	・福島大学経済経営学類 西川教授
第2回	◇視察研修講座(浪江町・飯館村合同) ざる菊の里～たんがら味工房～阿武隈茶屋	
第3回	●共助による保育と介護を考える	・NPO法人まごころサービス 須田理事長
第4回	●実践者の体験談に学ぶ	・花見山を守る会 高橋代表 ・一般社団法人手づくりマルシェ 齋藤幸子代表 ・ざる菊の里 佐藤代表
第5回	●できることから始めよう!(出前絆講座のまとめ)	・福島大学学長特別補佐(うつくしま未来支援センター長) 中井教授(現大学長)
第6回	◇社会実験講座: 菓子づくりと試食・交流会	・一般社団法人手づくりマルシェ 齋藤幸子代表

2)出前(絆)講座開催の様子

■第1回講座

「農業の六次化と加工品づくり」



・浪江町笹谷東部仮設住宅(8名)



・飯館村松川第一仮設住宅(11名)

■第2回 視察研修講座

先進事例「視察研修講座」

(浪江町・飯館村合同参加者14名)



・ざる菊の里（川俣町）

・かーちゃんのカブ
プロジェクト・阿武隈
茶屋（松川町）



・たんがら味工房（立子山）



■第3回講座

「共助による保育と介護を考える」



・浪江町笹谷東部仮設住宅（8名）



・飯館村松川第一仮設住宅（20名）

■第4回講座

「実践者の体験談に学ぶ」



・浪江町笹谷東部仮設住宅（13名）



・飯舘村松川第一仮設住宅（16名）



・海外ボランティア員の参加
（チョコラボ利用者）

■第5回講座

「できることから始めよう!」



・浪江町笹谷東部仮設住宅（7名）



・飯舘村松川第一仮設住宅（20名）

6. 話し合われた活動と内容

項目	活動内容や課題等	該当地区
1. 花の栽培	①仮設住宅での「ざる菊」の鉢植え・プランター栽培	(浪江町、飯舘村)
2. 菓子づくり	②仮設集会所での菓子づくり・料理教室 ③「手づくりマルシェ」への見習い希望者あり	(浪江町、飯舘村) (浪江町)
3. 子供のための行事	④クラフトや料理等のキッズ教室の開催 ⑤外国人支援員等による英会話教室	(浪江町) (同上)
4. 手工芸品づくり	⑥押し花教室 ⑦男性のクラフト教室	(浪江町、飯舘村) (浪江町)
5. 農業の六次化等	⑧野菜づくりをしたいが、近くに農地がない ⑨地元の食材を使った味噌づくりや漬物の商品化 ⑩古着のリサイクル活動グループの起業化 ⑪地域特産ジャガイモやカボチャの商品開発と後継者づくり	(浪江町、飯舘村) (飯舘村) (飯舘村) (飯舘村)
6. 介護・子育て、引きこもり対策	⑫仮設住民の絆づくり(高齢者宅への料理・弁当・菓子づくり教室とおすそ分けサービス活動) ⑬共助による介護・子育て支援と「助け合いカード(地域通貨)」	(浪江町、飯舘村) (浪江町)
7. その他	⑭ナツハゼの栽培と六次化 ⑮桑(畑)の活用	(飯舘村) (浪江町)

7. 社会実験としての菓子作り

①親子での菓子作り教室(浪江町)



・集会所の中は、若さに溢れ、活気に満ちました。



・屈託のない子供たちの表情に救われる思いです。

②高齢者による洋菓子作りへの挑戦(飯舘村)



・愛する旦那さんや家族へお土産づくり笑顔がこぼれます。
↓

■本事業の成果

①チョコラボ利用者

・延べ1,083人（営業日1日平均4.0人）

②出前（絆）講座住民参加者

・延べ141人（1講座平均12.8人）

8. 今後の展開に向けて

(1) ざる菊の鉢植え講習会の開催(浪江町)

「ざる菊の里(川俣町)」から浪江町までざる菊で結びましょう!



・五色の花が咲
き誇る「ざる
菊の里」



(2) その他の活動支援について

①故郷での地場産業化を視野に活動する
「までい着づくり」サークルの資金繰り・体制づくり(飯舘村)

②地域特産のジャガイモとカボチャの振興を目指すNPO法人「かーちゃんのカプロジェクト」の商品開発・後継者づくり(飯舘村)

③子供のための行事(菓子づくり・料理教室、英会話教室等)の開催(浪江町)

④子供たちの声を世界に発信(創作英語劇の上演と世界へ発信)(浪江町)

等々